



小田原なぎさ会通信

No.34

2023年4月1日発行

私たちは、「精神に障害を持つ皆さんをはじめとして、色々な障害を持つ皆さんが誇りある社会の一員として自立した生活を送ること」を支援する活動をしています。①施設の設置・運営、②普及・啓発、③関連先との連携、が事業の中心です。皆様のご理解とご協力をよろしくお願いいたします。

<中期的な活動指針>

広げよう！『活動の輪』

理事長 乾 恒雄

3年以上にも及ぶ新型コロナウイルス感染症は、8回もの感染拡大の波を生み出しながらも、やっと収束の傾向を示してきました。このあたりで今回のウイルス騒動を一区切りさせ、以前の日常を取り戻したいものです。

さて、昨年度も基本方針として、「**現在取組み中の活動継続とその内容充実に重点を置く**」ことを掲げて活動の推進に努めましたが、依然として続くコロナ禍の中、今までの経験を活かし色々な工夫を盛り込みながらの活動になりました。

自主製品『エコマグネット』の販売拡大もコロナ禍の影響を受けて思ったようには進みませんでした。手ごたえのあるスタートを切ることができたと感じています。これからも販売の機会を増やして多くの皆さんに認知・活用していただくと共に、通所メンバーさん達の工賃アップへの取組みの柱として育てていきたいと考えております(詳細次ページ参照)。毎年提出している「小田原市長への要望書」では、まだ充分とは言えない状況にある障害者の就労支援強化を中心に多面的な支援を訴えました。このような市民活動から行政等への発信も継続していくことに大きな意義があると考えております(詳細次ページ参照)。

また、あらゆる障害者福祉事業所に対して義務化された「障害者虐待防止法の遵守」が示す本質的な意味を捉え、当法人では**施設運営指針として「利用者センター、利用者ファースト」**を掲げました(明文化)。改めて支援のあり方を見つめなおし、更なる活動の充実に向けて具体的な施策をうっていきます。

標記の中期的な活動指針「**広げよう！『活動の輪』**」は、5年計画として策定してから4年が経ち、本年度が最終年度(区切りの年度)になります。全国各地で多くの共感をいただき、現時点で110名を超える会員数まで『活動の輪』が広がっていますが、この指針の本質は「**普及啓発事業の強化**」にあり、今後も引続き注力すべき活動であると考えています。多様性の社会の中で「**障害を持っている皆さんも大切な私たちの仲間として共に暮らしていく地域・社会を作り上げていく動きを広げていきたい想い**」を大切に更なる事業推進に取り組んでいきます。1人でも多くの皆様と共に、このような市民・社会活動を通して先ずは日本社会を成長(意識と行動の底上げ)させていきましょう(詳細次ページ参照)。



小田原なぎさ会は持続可能な開発目標(SDGs)を支援しています

上記の想いや私たちの活動は、「**SDGs**」にも①**福祉の促進や差別の解消・不平等の是正**、②**自然環境の保護及び回復(持続可能な生態系や森林の保護・回復、気候変動の軽減等)**への取組みによる『**誰一人取り残さない**』**持続可能で多様性と包摂性のある社会**を目指す思想など、深いつながりを持っていると捉えています。



小田原 新田公園の桜

これからも私たちの活動にご理解とご協力・協働をよろしくお願いいたします。

このページでは、私たちの法人活動や運営施設「小田原なぎさ作業所」での各種活動・イベントなどの様子を中心に紹介させていただきます。

中期的活動指針 **広げよう！『活動の輪』** 進捗状況と最終年度に向けて

昨年度も引続くコロナ禍のため多くの制約がある中での活動になりましたが、色々な工夫を凝らす（リモートやメール活用など）と共に「**強い想いと意志**」のもとに普及啓発や協働の投げかけに注力しました。多くの皆様から私たちの活動に共感と賛同をいただき、右図に示すように「活動の仲間」「心の仲間」が大幅に増えました。この1年を**大きな飛躍の年度**にできました。ありがとうございます!!!

本年度は、いよいよ上記『中期的活動指針』に沿った**普及啓発事業強化の最終年度**になります。更なる活動仲間の拡大に向けて取り組んでいきます。



*SDGsの精神にも相通する私たちの活動を、皆様と共に広げていければ幸いです。1人でも多くの皆様のご理解とご協力・協働をよろしくお願いいたします。

自主製品『エコマグネット』販売の拡大展開（実績と今後）

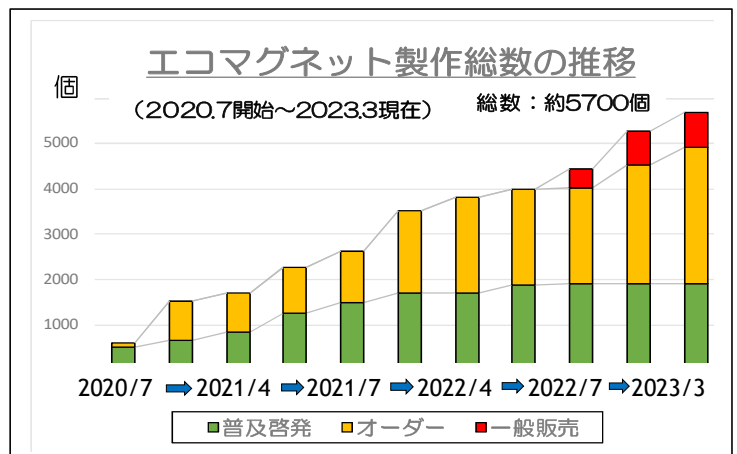
約3年前にコロナ禍の中で創出した『エコマグネット』は、下図に示すように普及啓発活動用途(グラフ緑色)から始まり、外部の皆様から製作依頼(グラフ黄色)をいただけるまで成長し、昨年度からは更なる発展を目指して一般市場での販売(グラフ赤色)を開始しました。製作総数はもう少しで6000個を越えます!!!

引続くコロナ禍のため、外部イベントでの販売を中止せざるを得ない時期もありましたが、何とか販売を拡大したい想いから無人販売(参加形式工夫)も断行しました。



無人販売の様子 (2022.11.27)

コロナ収束を期待し、昨年度は着手できなかった常設販売(Ex.道の駅・コンビニ等)などにも今年度からチャレンジします。応援をよろしくお願いいたします。



令和5年度に向けた『小田原市長への要望書』提出 (2月9日)



今回は下記4項目について、小田原市長へ要望を提出しました。①②は障害者支援の中でも特に遅れていると考える精神障害者への支援に関するものです。

- ①精神障害者の就労支援強化：全国レベルに対して小田原地区における精神障害者の就労状況が低い実態を数値データで示し、行政が先頭に立って雇用及び定着を促進することを求めました。
- ②「精神障害にも対応した地域包括ケアシステム」の構築：国の発信から既に5年が経過している本件につき、具体的且つ誰にでも目に見える姿に仕上げるべく、前進させることを強く求めました。

- ③自治体区分を越えた包括的な障害者支援：障害者の自己選択及び自己決定を尊重し、現在の枠組みを越えて隣接する自治体等との連携・協働により、支援の幅を広げていくことを求めました。
- ④地域活動支援センターに対する補助金増強：制度化以来10年以上にわたる同じ補助金システムについて、時代の流れに即したものに改善することを求めました。また、私たちの活動は「共存共生社会」の実現に必須であり、その社会的存在価値及び意義は大きいと考える旨を伝えました。



守屋市長に加えて障がい福祉課から3名が同席していただき意見交換しました。限られた時間ではありましたが、直接的に声を届けることは大切であると考えます。時間を割いていただきました市長に感謝いたします。

教育機関との連携事業 (神奈川県立平塚看護大学校 地域密着健康教育の紹介)

連携事業及び普及啓発事業の一環として、色々な教育機関との交流や学生実習を毎年受け入れています。上記教育機関の地域密着健康教育は、地域の活動団体を訪れ「学生達が1年がかりで自分達で考えた企画とその実践を通して学びにつなげる」というユニーク且つ素晴らしい科目です。昨年度は学生達7名がワンチームになり、当法人(社会的資源)での講話や会話及び実習を通して、その理念や位置づけ・実際の活動内容を体験的に学ぶと共に、学生考案のレクリエーション「すごろく大会in動物園」を企画・実行していただきました。



慎重にコマを進める

すごろく大会 in 動物園(11月15日実施)：2人ペアでサイコロを振り出した目の数コマを進め、そこに書いてある内容(〇〇のマネをする等)をペアで行う。マスもサイコロもコマも全てが手作り感満載!!!

動物の鳴声や動きのマネ等で大いに盛り上がりました。意外なところで通所メンバーが実力発揮。最初は恥ずかしくて見学していた通所メンバーも知らない内に自ら参加していました。何かを感じてくれたのでしょうか、この光景が今も鮮明に脳裏に残っています。



レクリエーションを楽しんだ後の全員集合

<学生達からの実習全体を通したフィードバック>

* 個人を尊重し自己決定を大切にされた支援、* 自主性や参加・協力意識の向上、* 利用者の持つ力を引出し活かす努力、* イベント等による社会との交流やつながりの機会、* 居場所作り、等を大切にしていることが伝わってきた。そして、依存ではなく自立につなげる支援の深さを感じた。また、普及啓発の大切さを強く感じた。

通所メンバーさんの感想

学生さん達の企画したすごろく大会の予告ポスターを見て、これはすばらしいと思いました。みんなで笑いながら楽しめました。またやりたいです。NIさん動物園に言った気分でした。R.Tさんすごろくはたのしかったです。どうぶつのはなごえのマネをするところがむずかしかったです。S.Uさん

城下町おだわら ツーデーマーチ & パラスポーツ体験 (11月20日)

このイベントには初めて参加しましたが、各々の体調に合わせて6km 徒歩コースやパラスポーツ体験に参加し、リフレッシュしました。また、エコマグネットの一般販売も行いました。



通所メンバーさんの感想

初めてのツーデーマーチに皆さんと参加して、ゴール出来て良かったです。物販のブースもとてもステキなアイデアで見えて楽しかったです。A.Nさんパラスポーツの種目に参加したのですが、全部楽しかったです。また来年も参加したいです。M.Hさん

みかん収穫 (2月24日) & ピザ調理体験

3年ぶりの曾我山みかん収穫体験の後、ピザと焼き芋で心もおなかも満たされました。



みかんをたくさん収穫できました!

「命を大切にする小田原を創る会」及び「曾我山応援隊」の皆さん、今回もご協力ありがとうございました。



会員の町田さん、参加とご協力ありがとうございました。

通所メンバーさんの感想

山で食べるピザや焼き芋はおいしかった。K.Hさん大きないもとピザをたくさん食べて、おなか一杯になった。また来年も行きたいです。M.Hさん空気が良くて、ゴールデンオレンジもたくさん取れて、食事もおいしくて良かったです。T.Uさん

~みんなの短歌3~ 通所メンバーさんが作った短歌を少しずつご紹介しています。

- ・作業所で思ったことを言いたいな 心開いて変えていきたい T.Nさん
- ・絵を描くと辛いこと忘れ嬉しいなドラゴンボール完成させよう Y.Sさん



事務局からのお知らせ

認定NPO法人小田原なぎさ会では、毎月下記のような様々なイベントを企画しております。会員の皆様のご参加を心よりお待ちしております。お問い合わせは事務局まで！！

●今までの主な活動（R4年10月～R5年3月）

- | | |
|-----------------------------|---------------------------------|
| 10/1 機関紙 小田原なぎさ会通信 No.33 発行 | 12/10 かながわハートフルフェスタに無人参加（展示・物販） |
| 10/1 県精進 地引網&バーベキュー交流会参加 | 12/14 酒匂小学校訪問（エコキャップ受取） |
| 10/7 赤い羽根共同募金活動に参加 | 12/23 第6回クリスマス地域交流会開催（形式工夫） |
| 10/8 おだわらハートフルフェスタ in 川俣に参加 | 2/9 小田原市長へ要望書提出・面談実施 |
| 11/20 小田原ツテ-マチ&パラソ-ツ体験に参加 | 2/10 令和4年度臨時理事会開催 |
| 11/27 UMECO 祭りに無人参加（展示・物販） | 3/10 畑体験（植付）実施（形式工夫） |
| 12/3～4 おだわらつながる福祉展に無人参加（同上） | 3/15 令和4年度第3回理事会開催 |
- *新型コロナウイルス感染症の影響で、第2～4回地域ネットワーク会議は開催を中止。バス旅行も中止しました。新田公園夏祭りなどの近隣地域主催のイベント等も開催が中止されました(参加も中止)。

●今後の主な活動予定（R5年4月～R5年9月）

- | | |
|----------------------------|----------------------|
| 4/1 機関紙 小田原なぎさ会通信 No.34 発行 | 7/12 第2回地域ネットワーク会議開催 |
| 4/中旬 畑体験（管理）実施 | 8/中旬 新田公園夏祭り参加 |
| 4/19 令和5年度 第1回理事会開催 | 9/1 作業所にて自主防災訓練実施 |
| 5/24 2023年（令和5年）度通常総会開催 | 9/13 令和5年度 第2回理事会開催 |
| 6/14 第1回地域ネットワーク会議開催 | 9/30 第10回なぎさ祭開催 |

*新型コロナウイルス感染症の収束状況に応じて、随時各種活動の開催可否を判断していきます。

●小田原なぎさ会への入会のご案内と寄附について

★会員大募集中：一緒に障害を持つ皆さんの多面的な支援を進めましょう！！

会員になっていただくことだけで、障害者の支援活動に参加していただけます。大切に考えていることは、『皆さんの思いや心であり、仲間意識』なのです。直接的な活動の時間確保を求めるようなことはありません。

◆小田原なぎさ会会費について：2022年度より入会金0円・個人年会費2,000円に改定

- ・正会員：（個人）入会金0円 年会費2,000円 （団体）入会金0円 年会費10,000円
- ・賛助会員：（個人）入会金0円 年会費1,000円/口 （団体）入会金0円 年会費5,000円/口

*事務局へご持参、金融機関へお振込みの他、新たに口座から自動引き落としも選択できるようになりました。

★皆さまからのご寄附による、ご支援や活動参加をお願いいたします！！

当法人は『認定NPO法人』及び『指定NPO法人』を取得しています。寄附をしていただきますと、申告することで国税と地方税をあわせて、**寄附金額の最大50%が税額から控除**されます。

法人からご寄附をいただきました場合にも、一般寄附金額の損金算入限度額とは別に、別枠の損金算入限度額が設けられておりますので、トータルの**損金算入限度額が拡大**されます。

〈〈令和4年度（R4年4月1日～R5年3月31日）に頂戴いたしました寄附金のご報告〉〉

件数：17件 総額 434,700円 ご寄附いただきまして、誠にありがとうございました。

*寄附金は下記どちらかの銀行口座へお振込みいただくか、NPO法人事務局へご持参願います。

尚、寄付金受領証明書を発行する際に、ご住所・ご氏名が必要なため、先ずは事務局にご連絡願います。

■ゆうちょ銀行 記号10970 番号34276131 トクヒ)オダワラナギサカイ

*他銀行から振り込みの場合 (店名)〇九八(ゼロキュウハチ) (店番)098 普通貯金3427613

■さがみ信用金庫 南鴨宮支店(普) 0226591 トクヒ)オダワラナギサカイ

発行：認定NPO法人 神奈川県・小田原市指定NPO法人 小田原なぎさ会

〒250-0875 小田原市南鴨宮3-16-20 2F 小田原なぎさ会のホームページをご覧になるには

Tel/Fax 0465-47-4513

E-mail o-nagisa@nifty.com

ホームページ <https://www.nagisakai.org/>

Facebook <https://www.facebook.com/odawaranagisakai>

検索サイトで「小田原なぎさ会」と入力いただくか
右のQRコードをスキャンでアクセスできます

